

▶ スコアボード ◀

第57回横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会 (Jr.Y)
 4月2日(土) ~ 市内グラウンド
 第49回横浜春季少年サッカー大会
 4月10日(日) ~ 市内グラウンド
 2022年度レディース大会
 4月10日(日) ~ 市内グラウンド
 2022年度社会人委員会登録総会
 5月14日(土) 18:20 ~ 関内ホール小ホール



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
 編集 同 広報委員会
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜2-6-3
 DSM新横浜7F
 TEL (045) 474-4315 FAX 474-4316
 http://www.yokohama-fa.or.jp
 印刷 神奈川新聞社
 〒231-8445 横浜市中区
 太田町2-23
 TEL 227-0739 FAX 227-0785



初優勝で歓喜のJFC FUTUROのメンバー

JFC FUTUROが初優勝
2021年度 横浜市民大会

Jリーグの開幕が早まり、当初予定していた横浜市民大会の決勝戦が1週間前倒しになり2月13日、ニッパツ三ツ沢球技場で行われた。決勝戦は、冷たい雨の中での試合となったが、間もなく開幕を迎えるピッチコンディションは最高の状態であった。そのピッチに負けない白熱した試合を展開したのは、今年度初参加のYokohama Puenteと昨年度惜しくも準優勝で終えたJFC FUTURO。均衡した試合でこのままPK戦かと気をもみだしたところ、FUTUROが先制点を挙げ、さらに追加点を取って結果、2-0でJFC FUTUROが昨年の雪辱を晴らし、初優勝に輝いた。

創立90周年事業を実施
 横浜サッカー協会臨時総会
 (一社)横浜サッカー協会は、3月24日に2021年度臨時会員総会を行い書面表決により、①2022年度事業計画②別掲③2022年度収支予算について原案どおり可決した。
 横浜サッカー協会は、20

優勝 横浜ジュニオールSC
緑ピクシーズ(少女の部)
第47回横浜少年サッカー大会市長杯



少女の部優勝 横浜ジュニオールSC

令和4年1月8日、2日前に降った雪が残る日産小机フィールドで開会式が行われた。今大会はコロナウイルス感染拡大防止の為に、参加チームの代表2名が開会式に参加。前回優勝のSCH・FCが先頭に149チームが堂々と入場。選手宣誓は抽選会で47番を引いた駒林SCの2名が務めた。

トーナメント方式で行われた大会は、開会式終了後は小机フィールドにて2試合が行われ開幕した。その後、試合は横浜スタジアム、しんよこフットボールパークで熱戦が繰り広げられた。コロナウイルス感染が再び拡大し、辞退や途中棄権チームが数チームあったが2月27日に決勝戦・3位決定戦がしんよこフツ



少女の部優勝 緑ピクシーズ

トボールパークで行われた。準々決勝、準決勝では4試合がPK戦で接戦を制した横浜ジュニオールSCとあざみ野FCが決勝戦に駒を進めた。決勝戦も一進一退の好ゲーム、延長戦でも勝敗がつかずにPK戦にもつれ込んだ。少女の部は参加8チームを4チームに分けて予選リーグを行い、上位2チームが2月23日玄海田公園グラウンドにて準決勝・決勝戦・3位決定戦が行われた。

- トーナメント方式で行われた大会の結果
- 優勝 横浜ジュニオールSC
 - 2位 あざみ野FC
 - 3位 SCH・FC
 - 4位 エスレーラSC
- 〈少女の部 結果〉
- 優勝 緑ピクシーズ
 - 2位 金沢ガールズ
 - 3位 原なでしこ横浜
 - 4位 あざみ野キティーズ

YC & ACに『功労賞』
日本サッカー協会が授与



『功労賞』の盾を掲げるYC & AC理事長・笠間知志氏(左)と理事、サッカーキャプテン・カールピレス氏(右)

YC & AC (横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ)は、日本サッカー協

僕達が市長杯で意識した事は二つありました。それは、ボールを奪いに行く時、前線から厳しく粘り強く相手にプレッシャーをかけていく事です。それで高い位置でボールを奪いゴールに繋がる事もあ

粘り強く戦う
 横浜ジュニオールSC 石田蓮太郎

会から『功労賞』を受賞した。これは、日本サッカー協会が創立100周年を迎えたことを記念して各地域での活動を含めて日本サッカー界において永年にわたり普及や発展に貢献した個人、団体に対して与えたもの。
 YC & ACは、わが国で最初にできたスポーツクラブであり、1886年12月にクラブとしてサッカー競技を開始。1888年3月、神戸リガッタ・アンド・アスレチック・倶楽部との間でインターポットマッチが開催されている。これが日本で最も古いサッカーの対抗戦と位置づけられている。そして1904年2月6日、東京高等師範学校(現・筑波大学蹴球部)と日本初のサッカーの国際試合を開催している。
 YC & ACのこうした活動の歴史は、横浜サッカーの礎でもあり、普及、発展に貢献してきた。



優勝 SHガールズ

第32回横浜少女サッカー大会が3月21日に玄海田公園運動広場で行われた。
 順位決定戦は、力の均衡したチーム同士の戦いとなり、6試合がPK戦で勝敗が決まるといふ熱戦が繰り広げられた。
 優勝・SHガールズ
 準優勝・大門FC
 第3位・緑ピクシーズ
 第4位・金沢ガールズ

SHガールズが優勝
第32回横浜少女サッカー大会

本大会は、6年生にとつては小学生最後の公式戦であり、横浜市内13チームが参加して行われた。4ブロックに分けてリーグ戦により順位を決め、各ブロックの順位同士での順位決定戦で全順位を決めた。

りました。二つ目は、ボールを持ったまま前を向いて仕掛ける事です。1人2人抜いて数的優位にする事です。日々の練習では常に足元の部分を磨いています。
 決勝戦では攻められる時間が多かったですが、みんな集中を切らさずに粘り強く守り抜き、初優勝をする事が出来て本当に嬉しかったです。6年生になっても自分達のサッカーをして結果を出せるように頑張ります。

恒例となった横浜サッカー協会の新年を祝う令和3年度「YFA新春サッカーフェスティバル」が1月10日に横浜スタジアムで行われた。今年度も新型コロナウイルス感染防止のための制限があるなか、高体連、女子委員会、社会人委員会、少年委員会、中体連・ジュニアユース委員会による各カテゴリーでの交流試合を

行った。参加チームは、新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを遵守し、今年初のサッカー試合を楽しんだ。

ハーフタイム
 まだまだ新型コロナウイルス感染が続き今年も、Jリーグ開幕。そして大相撲春場所、選抜高校野球、プロ野球と次々に開幕、スポーツ好きには楽しい季節の到来となった。2021年度の協会事業も中止にすることもなく、計画された事業はほぼ無事に終えることができた。この4月から2022年度の事業がスタートする。スポーツは、競技者はもちろん観戦する者にも力を与えてくれる。今年、横浜サッカー協会が創立して90周年の節目の年である。記念式典などを実施する予定はしていないとするが、創立90周年を記念し、あらためて横浜サッカー協会の存在をアピールするための記念事業を行うこととしている。記念事業と言えは昨年、日本サッカー協会が創立100周年を迎えたのを記念して、我が国のサッカー普及、発展に貢献した個人、団体に対して感謝状、また功労賞を授与している。その中に、横浜ではYC & ACが功労賞を受賞している。日本でも最も古い対抗戦や初の国際試合を開催した歴史のあるクラブである。長い歴史が礎となつて事業が展開してきている。創立90周年を機にインパクトがあり、将来に結びつく記念事業を望みたい。(一)



2022年度 事業計画

- サッカーに係る試合の主催及び公式記録の作成に関する事業(定款第4条第1号)
 - 令和4年度YFAスーパーキッズ大会
令和4年6月25日(土)、10月1日(土)、令和5年2月25日(土) 3回
 - 第25回横浜市18区選抜少年サッカー大会(横浜F・マリノス杯)
令和4年4月2日(土)、4月3日(日)、4月10日(日) 3日間
 - 第6回横浜市18区選抜少女サッカー大会(ニッパツ横浜FCシーガルズ杯)
令和4年7月2日(土)、3日(日)、10日(日) 3日間
 - 第48回横浜少年サッカー大会市長杯
令和5年1月7日(土)～3月5日(日)
 - 第49回横浜市春季少年サッカー大会
令和4年4月10日(日)～6月26日(日)
 - 第54回横浜国際チビッ子サッカー大会
令和4年9月11日(日)～11月27日(日)
 - 第18回横浜市18区代表U11サッカー大会(第3回タカナシカップ)
令和4年10月30日(日)、11月3日(木/祝)
 - 第57回市長旗争奪ジュニアサッカー大会
令和4年4月1日(金)～6月19日(日)
 - 2022 YFA フェスティバル
(サマーフェスティバル)
令和4年7月または8月 2日間
(ウィンターフェスティバル)
令和4年12月または令和5年1月
 - 第9回すずらん少女サッカー大会
令和4年11月3日(木/祝)
 - 第30回カトレア杯少女サッカー大会
令和4年9月23日(金/祝)、24日(土)
 - 第33回横浜少女サッカー大会
令和5年3月25日(土)、26日(日)
 - 第2回U-14ガールズカップ 2022
(ウィンターカップ)
令和4年12月25日(日)
(スプリングカップ)
令和5年2月25日(土)
 - 2022年度レディース大会
(2022年度レディースリーグ(U-15/U-18/一般))
令和4年4月10日(日)～令和5年1月22日(日)
(第1回YFAなでしこウィンターフェスタ 2022)
 - 2022年度 横浜市民リーグ 社会人の部
令和4年5月～令和5年3月
 - 2022年度 横浜市民大会 サッカー競技 一般の部
令和4年5月～令和5年3月
 - 2022年度市民マスターズサッカー大会
令和4年4月～令和5年3月
 - シニア新春サッカーフェスティバル
令和5年1月8日(日)
 - シニア親善交歓サッカー大会
令和4年4月～令和5年3月
 - 2022 YOKOHAMA ビーチサッカーフェスタ
令和4年7月30日(土)、7月31日(日)
- サッカーに係る団体の登録に関する事業(定款第4条第2号)
 - チーム登録
登録数 社会人:92 4種:179 シニア:49 女子:9
ジュニアユース:28 中体連・J連盟チーム等:7 合計364チーム
 - 個人登録費(4種のみ対象)
登録数 8,333人
- サッカーの指導者等の養成に関する事業(定款第4条第3号)
 - コーチングセミナー(D級コーチ養成講習会)
令和4年12月10日(土)、11日(日)
 - 審判員の実技研修会
令和4年予定(3日間)
 - 指導者養成 基調講演会
令和4年11月以降
 - 審判員の視戦研修会
2022年度 市民大会決勝戦(予定)
 - 4級審判員の強化育成事業(3級審判員推薦事業)
令和4年4月～11月(8ヶ月で2名を推薦)
- サッカー技術の向上に関する事業(定款第4条第4号)
 - ゴールキーパー指導者講習会
令和5年2月25日(土)
 - トレセン事業(少年/少女/ジュニアユース/中体連)
令和4年6月～令和5年3月
 - ジュニア競技力向上事業
令和4年4月～12月
 - 第47回神奈川県選抜少年サッカー大会への参加
令和4年12月10日(土)、11日(日)、18日(日)
 - 第42回神奈川県チャンピオンシップU-12への参加
令和4年7月2日(土)、3日(日)、10日(日)
 - 第14回神奈川県チャンピオンシップU-10への参加
令和4年7月2日(土)、3日(日)、10日(日)
 - 第20回神奈川県8人制サッカー大会兼8人制関東大会予選への参加
令和4年12月3日(土)、4日(日)
 - 第13回神奈川県地域交流大会への参加
令和4年9月
 - 第17回神奈川県地域対抗サッカー大会への参加
令和4年11月
- サッカーに係る広報及び普及に関する事業(定款第4条第5号)
 - 広報誌の発行
印刷部数 2,000部/回 発行時期 年3回
 - 新春サッカーフェスティバルの開催
令和5年1月9日(月/祝)
 - シニア・レディースサッカースクール
令和4年4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、9月25日、10月23日の日曜日 計6回
 - 生涯スポーツ教室(オールドボーイ)
令和4年4月～令和5年3月 昼間開催 年間15～30回
- サッカーに係る地域間交流に関する事業(定款第4条第6号)
 - 第61回日朝親善サッカー大会
令和4年10月22日(土)・23日(日)
 - 日韓ジュニアサッカー交流大会
8月予定
 - 日韓シニア交流大会
令和4年7月16日(土)～18日(月/祝)
 - 横浜招待少年サッカー大会
令和4年12月3日(土)、4日(日)
 - 横浜招待少女サッカー大会
令和5年1月28日(土)、29日(日)
 - 横浜招待シニアサッカー大会
令和5年3月18日(土)、19日(日)
 - シニア地域交流大会
令和5年3月(日時未定)
 - ねんりんピック
令和4年11月13日(日)、14日(月)本大会
- サッカーの試合会場の提供に関する事業(定款第4条第7号)
- サッカーに係る試合の運営受託に関する事業(定款第4条第8号)
 - 受託事業
令和4年4月～令和5年3月
対象 Jリーグ・Jリーグカップ・天皇杯・国際試合・関東大学サッカーリーグ・なでしこリーグ、JFA U-18プレミアリーグ、ハマふれんどフットサル大会およびその他各種大会等の運営受託
- スポーツ施設の管理運営受託に関する事業(定款第4条第9号)
 - 運営受託事業
令和4年4月1日～令和5年3月31日
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第10号)
 - 横浜市民のスポーツ文化に対する助成事業
 - 各種大会に対する後援・協力事業



40の部優勝 横浜シニア



50の部優勝 Yサッカー



60の部優勝 横浜OB



健闘した横浜少女トレセンのメンバー

第6回横浜招待少女サッカー大会は、令和4年1月29日、1月30日、しんよこフットボールパーク、横浜スタジアムにて開催。同大会は、横浜少女サッカーの育成と普及、「少女サッカーの輪をひろげよう」を目的としている。神奈川県内の少女選抜や関東近県

日産カップ争奪第48回神奈川県少年少女サッカー選手権大会は、令和4年1月9日より

高、低学年共に
横浜勢が上位に
神奈川県少年少女大会

- （リーグ戦結果）
- 1位 川崎TCC-A
 - 2位 横浜少女TCC-A
 - 3位 横浜少女TCC-B
 - 4位 相模原市少女TCC-A
 - 5位 県央GL選抜
 - 6位 横浜少女TCC-U11
 - 7位 川崎TCC-B
 - 8位 相模原市少女TCC-B
 - 9位 大和リトルなでしこ
- 低学年
優勝 バディイ SSC
2位 川崎フロンターレU12
3位 SCH・FC
4位 ダビデFC
- 高学年
優勝 SCH・FC
2位 JFC・FUTURO
3位 藤沢FC
4位 横浜マリノスpr

優勝

40の部 横浜シニア
50の部 Yサッカー
60の部 横浜OB

シニアマスターズ大会

横浜市民マスターズ大会の決勝は2月12日と13日にニッパツ三ツ沢球技場で開催された。12日は、晴天絶好の天候に恵まれたこの日、第一試合は50の部、第二試合に40の部の決勝が行われた。50の部では前半からYサッカーのペースで進み、前半2得点・後半、

1得点の合計3対0でYサッカーが勝利した。40の部決勝では立ち上がりから横浜シニアのボール支配率が高く神奈川高麗FCのゴールを脅かし、前15分過ぎから20分の間に3点をゴールし試合主導権を握る展開となった。後半、神奈川高麗FCも反撃に出て互角に戦うが好機にゴールできず無得点でタイムアップとなり結果、3対0で横浜シニアが優勝を決めた。

2月13日の60の部では朝から曇りの日で3点決定戦では開始直後から小雨となる中、翠嵐クラブが前半に得た1ゴールで勝利した。決勝開始時は本格的に雨足が強まる中、横浜OBのGKが濡れたボールの処理を誤り、dfbのゴールインで前半を終了。後半に入り横浜OBに好機が多くなり、2得点連取で逆転とした後、さらに終了5分前には3得点目を掲げ試合を決

横浜トレセンが健闘!

第6回 横浜招待少女サッカー大会

定づけた。結果はつぎのとおり。
【準優勝】神奈川高麗FC、【3位】日大高OB、緑ヶ丘クラブ

50の部【優勝】Yサッカー、【準優勝】Jクラブ、【3位】横浜シニア、dfb 50の部【優勝】横浜OB、【準優勝】dfb、【3位】翠嵐クラブ

の選抜を横浜に招待して行われる。今年の大会はコロナウイルス感染再拡大により辞退チームがあり、参加20チームを予定していたが横浜近隣9チームが参加。9チームによる総当たりのリーグ戦を2日間で行った。9チームのリーグ戦という点で1試合の勝敗、得失点により順位が変動、2日目は緊張した接戦となった。

2月13日、横浜スタジアムで雨の中行われた決勝戦・3位決定戦には高学年、低学年ともに横浜勢が進出。低学年は、バディイSCが川崎フロンターレU12を制し優勝。高学年は、横浜勢同士の決勝戦、JFC・FUTUROが前半早々に先制点するも後半SCH・FCが終了間際に追いつき延長戦にもつれ込み逆転でSCH・FCが優勝した。

法人会員一覧

- 横浜マリノス(株)
- 横浜食品開発(株)
- 神奈川新聞社
- JFE東日本ジーエス(株)
- (株)横浜アーチスト
- (株)横浜シミズ
- (有)フリースタイル